

支部協びより

第179号

発行所
 NTT労組退職者の会
 沖縄県支部協議会
 沖縄県浦添市城間4-35-1
 NTT城間ビル7F
 TEL.098-870-7101
 FAX.098-875-7450
 責任者
 会長 金城 章

電通共済からの封筒見ましたか？ 11月20日の口座振替の確認を。

会員の皆さん10月の下旬頃、電通共済協から「重要書類在中・親展」と表示されたうす青の封書が届いたと思いましたが、ご覧になりましたでしょうか。

封書の中には①契約している火災共済・生命共済・交通災害の口数と金額 ②確定申告時に使う掛け金証明書 ③合計金額(支部協会費2000円含む)と振替日(11月20日)

と金融機関名と口座番号 ④会員手帳が同封されています。口座を記載して(MH Fタイプ)シヨクシヤと表示、「振替」がなかったら支部協に連絡ください。

例年、20名〜30名程の方が「振替不能」で「コンビニ払い込み」や「現金送付」で苦労しています。場合によっては掛かってはたすの保険が適用されない場合があります。

※注意

第一回振替日 11月20日
 第二回振替日 12月20日



ぜひ、住所・口座の確認をお願いします。

11月14日〜15日 中央協、石原会長来沖 辺野古現地・大浦湾を 訪ねる、ゲート前では 警備の異様さに驚く

11月14日〜16日、中央協・石原喜久会長(74歳)・本橋一郎副会長・梅山啓(NTT労組新聞・情報宣伝部)の3名がひろがりネット新年号の取材で来沖しました。

夜は県協三役と辺野古現地を案内した会員の手登根さんをお交えての交流と強行なスケジュールでしたが「若さ?」でこなしました。

翌15日は沖縄分会を訪問・嘉数高地から普天間飛行場を視察し、県庁の「吉田参与」にインタビュー。夜は県協幹事・沖縄分会執行部交えて交流しました。



●吉田勝廣(参与)さんの取材、対談はいかがでしたか。移設工事の反対を始め、地位協定の改定など確信をもって展望を語る説得力に脱帽しました。



●最後に沖縄県協の会員へ一言。県協の仲間の方には2日間お世話になりました。普天間基地撤去・辺野古新基地建设阻止にゆるがぬ闘いを。

幹事のゆんたく ひんたく

伊勢神宮特別まがたま祭で琉球舞踊を奉納

副会長 松田竹徳
 新天皇皇后両陛下の即位を祝う令和元年伊勢神宮特別まがたま祭が去る十月十九日、二十日、伊勢神宮の内宮と外



宮で特別参拝と記念式典があった。主催は伊勢神宮勾玉会で沖縄から県南連合文化協会に式典への参加と琉球舞踊の奉納の依頼があり、舞踊団十名が招待を受けた。式典には全国の伊勢神宮勾玉会関係者、二百名余が参加しての厳粛な式典であった。私も舞踊団に参加する機会があり、歴史に残る貴重な式典への参加であった。伊勢神宮に参拝するのは初めてのこと、特別な聖域の中での参拝は、歳かで一五〇〇年の歴史の重みを感じさせた。式典では古典舞踊で格式高い祝儀舞踊「かぎやで風」その他の舞踊を奉納し、参列した方々に感銘を与えた。今回の式典への参加は、全国から参加した多くの方々に沖縄の伝統芸能と独自の文化を持つ沖縄を紹介する良い機会であった。

生き生き通信

ただ今現役

本籍は久米島、職場は宮古
今はウォーキング・
孫とカラオケの勝負

儀間 周憲さん (75歳)

(きま・しゅうけん)



儀間周憲さん、怪しい人である。何が怪しいかと云うと、筆者は儀間さんが宮古出身者なのか久米島出身者なのかからなかった。そして巷のうわさによると、夜な夜なカラオケを楽しんでいるらしいとの情報があったので11月某日・那覇市壺川の某居酒屋でインタビューを敢行した。

● 最近ちょっと腰がねくそれで今一日一時間程、漫湖公園をウォーキングしているんだ。
● 今、くらしはどうしているんですか。
● 近くのマンションで一人暮らしです。(注、奥さんは20年前に病気で他界) 最近体重も増えたので(75kg) 酒は控えていますよ。部屋の掃除は息子(注、福岡在)が帰ってくる時にしている。(苦笑)

● 一人で食事とかは。しばらくは自分でつくっていただけ、今はスーパー行って30%引き総菜を狙って買っている。(笑い) 卵は何時でも食べられるようにゆでておいてあるんだ。
● あの西銘さんと同級生だった。(何が、あの、なのか、西銘さんにちよつと失礼か...)

きだと聞きました。孫と会った時にカラオケの勝負やるんだ。今のカラオケの点数は精密でね。こないだ孫に勝った時はうれしかったなあ。
● 人間ドックで引つかかってね、最近酒はあまり飲んでないんだ。
* 儀間周憲さんは久米島の旧仲里村で生まれ、1964年に郵便局に入社、71年に郵政受け入れで琉球電電に入る。
配置先は宮古の業務課。(このあたりが生まれは久米島、仕事は宮古と云われるゆえんだ。) 90年本島に転勤、65歳で退職(城間ビル勤務)した。現在壺川の某マンションで一人で暮らしている。



● そうなんだ、中学・高校の同級生でね。今でも20名程で模合をやっている、年に一回旅行もやるんだ、これが楽しくてね。来年の離島交流は久米島らしいから、なるべく行きたいね。
聞き手・金城幸男
* 生き生き通信 171号で紹介した、那覇の構内食堂の「おやし」こと、城間富雄(87歳)さんが10月末、脳内出血でお亡くなりになった。半年前にインタビューした時は元気満々でゲーボールの役員やったり、地域の老人会等で楽しくやって、嬉しそうだったのが、帰らぬ人となってしまった。ご冥福を祈ります。

投稿

首里城が焼失

勝連 千鶴子

サイレンの音を訓練?と思った途端、首里城が燃えていると電話が鳴り響く。すぐに飛び出し、龍潭の畔に呆然と立ち尽くす。

いつもの散策路の風景が目の前で燃え落ちてしまった。突然突きつけられた喪失感。形あるものはなくなると覚悟はしているが、目の前で無くなっていく、成す術がない。理不尽な歴史に翻弄されながらも、琉球王国の中心であった首里城は五度目の焼失である。その度に再建された。今回も無残な瓦礫の中から先人たちの復興への強い意志を引き継ぎたい。焦らずに琉球王

国、そして沖縄の政治、文化、経済、宗教、外交を改めて見つめたい。
首里城を案内した熊本県の方からお手紙が届いた。熊本城の修復工事現場の写真と共に二万円札が二十枚同封されていました。細やかな気遣いに思わず涙がでました。国内外からの広がる支援の輪に励まされます。
そして、首里城があったことに対して感謝の気持ちが沸き起こると、ため息が少しづつ和らぎはじめます。
「見えなくてもあるんだよ(金子みすず)」
みんなそれぞれの首里城を含めての首里、そして沖縄の「しまんちゅの宝」を日々大切にしていきたいと思えます。



在りし日の首里城

「会員の訃報について」
謹んでご報告し、故人のご冥福をお祈りいたします
多和田 眞栄 満69歳
2019年10月30日死亡
宜野湾在
山城 柳太郎 満81歳
2019年10月22日死亡
南城市在